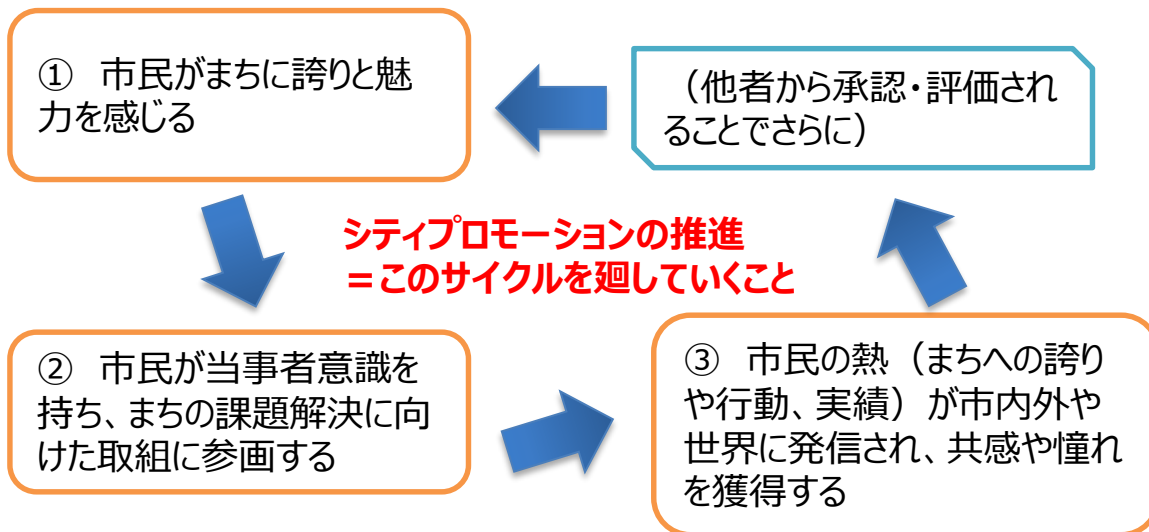


5. 戦略の柱について

◆ 彦根市シティプロモーションの目的（前回委員会での確認事項）



◆ 彦根市シティプロモーションの成果指標（前回委員会での提案事項）

- ① 地域推奨量 ...「あなたのまちを、知人にどの程度おすすめしたいと思いますか」
- ② 地域参加量 ...「あなたのまちを良くするために、どの程度関わりたいと思いますか」
- ③ 地域感謝量 ...「あなたのまちを良くしようとしている人々にどの程度感謝したいですか」



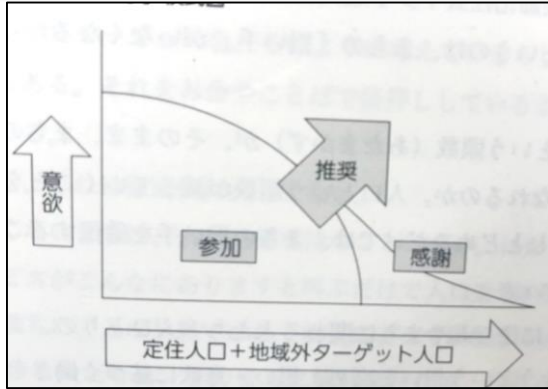
アンケート結果からも、各指標は相関関係にあり、
シティプロモーションの推進サイクルを廻す上で、重要な成果指標

5. 戦略の柱について

アンケート結果からも、市民の推奨意欲の低さが課題
→ 参画量と感謝量の増加によって、推奨量を増加させる



参加量／感謝量を上げるための
戦略の柱が必要



**彦根市
シティプロモーション
戦略策定PJ**

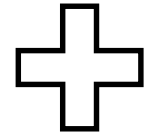
- ▶ 戦略策定委員会
- ▶ 市民ワーキング会議

**参加量UP
戦略**

**感謝量UP
戦略**

**推奨量UP
戦略**

協働



**発散の場
(イベント)**

情報発信

- 市民がまちの課題解決に対して、積極的に関わることができる仕組みづくり
(参考：米原市協働事業提案制度)

- 市民のまちに対する誇りや、まちを良くしようと取組んでいる活動報告など、まちへの想いを発散できる場づくり
- 共感した市民が感謝を表現したり、新たな連携を生む場づくり
(参考：丹波未来フェス)

- 市民のまちへの想いや実際の活動が、市内外に発信される仕組みづくり
- 市民自らが魅力を発見し発信できる仕組みづくりなど



取り組みを、細かく何度も発信していくことで、「自分たちの住んでる彦根、最近色々市民巻き込んで動こうと結構頑張ってるんちゃう？」という意識を、市民の皆さんに感じてもらうような発信を心がける
(ポイント：等身大／カッコつけない／フランク／でも真面目)

